

Actian X Hybrid Database

オペレーショナル アナリティクスに対応するベクトル化されたネイティブのハイブリッド データベース

主なメリット

既存の Ingres アプリケーションへの分析機能の簡単かつ段階的な追加

企業全体でのデータの活用 - 他のデータソースやアプリケーションへの接続

Ingres データベースとホスト システムの健全性に関する認識向上

パフォーマンスの向上と保守計画の効率化

クラス最高のツールを使用した地理空間アプリケーションの視覚化および管理

「業界トップクラス」、「あまり手のかからない」、「低い総所有コスト」といった特徴を備えるより多くの機能

ワールド クラスのグローバル サポートと連携した日本語サポート。日本では、技術的支援を必要とするお客様に対して、開発元のグローバルなエンタープライズ サポートチームと連携して、エージーテックより、経験豊富な専任サポートエンジニアが日本語でサポートを提供いたします。

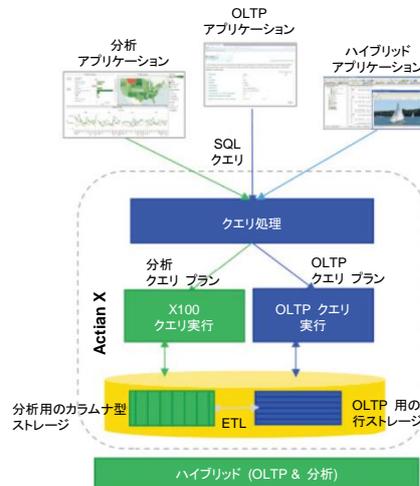
Actian X Hybrid Database は、ワールド クラスの統合機能の提供をはじめ、業界トップクラスの Ingres のトランザクション データベースと分析データベース Vector を組み合わせた製品です。

かつてないほど向上した分析機能とエンタープライズ クラスの OLTP との組み合わせ

Actian X は、かつてないほど向上した分析エンジンと強固な OLTP を組み合わせることによって、OLTP と分析機能の両面で企業のアプリケーションを支えます。

Actian の分析データベース Vector の X100 コンポーネントは、専用の X100 エンジンを使用して処理される X100 テーブルに Ingres や外部のデータを格納できるようにし、分析データベースのタスクのパフォーマンスを向上させます。OLTP と分析のワークロードを一緒に実行でき、既に使用しているクエリやアクセス メソッドを X100 データに対して実行することもできます。

新型のアプリケーション - オペレーショナル アナリティクス



X100 を Actian X に統合することで、OLTP と分析のクエリを組み合わせることができる新型のアプリケーションが実現されます。

各クエリは、適切な実行エンジンに送られます。X100 テーブルを作成して、レポート作成や分析に必要なデータのみをそのテーブルに格納することができます。X100 コンポーネントは、分析のパフォーマンスを向上させ、OLTP のオペレーションに及ぼす影響を最小限に抑えることができるように一から設計されています。クエリ構文や接続メソッドは変わらないため、最小限の労力でパフォーマンス向上のメリットを活用できます。

X100 - 分析テクノロジーのイノベーション

X100 は、最新の CPU が備えるパフォーマンス特性を引き出し、DBA による大規模な調整や継続的な調整を不要にします。

- ベクトル処理 - 同じチップレベルのオペレーションを多数のデータ ポイントで同時に実行できる Actian の特許申請中のテクノロジーです。
- チップ キャッシュの活用 - チップ キャッシュでのデータ処理は、RAM を使用したデータ処理の 100 倍高速です。
- 更新可能な第 2 世代の列ベースのストレージ - 関連データのみアクセスすることで、ディスク I/O が最小限に抑えられます。

- よりスマートな圧縮 - クエリのスループットを最大限に高めるために、圧縮解除は CPU チップ キャッシュに対して実行されます。
- ストレージ インデックス - 候補となるデータ ブロックを素早く特定し、I/O を最小限に抑えます。
- 並列実行 - データは、任意の数 (構成可能) の CPU コアを使用して並列で処理されます。

企業全体での Actian X と Ingres のデータの活用

Actian X とセットで提供される Actian X 用 DataConnect は、Actian X や Ingres のアプリケーションとのデータ統合の設計、デプロイ、および管理を行えるエンドツーエンドのソリューションを提供します。Actian X 用 DataConnect は、データ ソースやターゲットに接続したり、マッピングや変換を作成したり、自動統合プロセスを管理するためのワークフローを定義したりできる GUI を備えています。

空間データの収集、管理、および分析

業界標準の 2D、3D、4D のデータ型、線形参照機能、R-ツリー インデックスは、地理空間に関する機能として開発者が Ingres アプリケーションに追加できる、Ingres で使用可能なツールのほんの一例です。Actian X のユーザーは、ArcGIS 用プラグインを使用することで、ArcGIS 10.x を用いて Ingres の地理空間データを視覚化したり、処理したりすることができます。たとえば、アプリケーションユーザーは、より大規模な処理の一環として、ロケーションに基づいて特定のデータを表示したり、選択したりすることができます。

OLTP 機能によるパフォーマンスと使いやすさの向上

Actian X は、パフォーマンス、使いやすさ、セキュリティに関する多くの新機能を搭載しています。いくつかを紹介します：

パフォーマンス	使いやすさ	セキュリティ
<ul style="list-style-type: none"> ■ クエリのパフォーマンスを分析するヒストグラムの自動生成 ■ ネットワーク通信の圧縮 ■ クエリ オプティマイザーの再利用ヒューリスティック ■ R-ツリー インデックス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ログ ファイルの自動ローテーション ■ IANA タイムゾーン ■ Y2K38 に関する修正 	<ul style="list-style-type: none"> ■ BLOB 暗号化 ■ AES パスワード暗号化 ■ SQL の shaXSum() 関数



株式会社エージーテック

本 社：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-21-1 ヒューリック神田橋ビル 3F
 TEL: 03-3293-5300 (代表) FAX: 03-3293-5270
 カスタマーセンター TEL: 03-3293-5283 Mail: info@agtech.co.jp